

SB38 サイドイベント傍聴報告

2013年6月11日
一般社団法人海外環境協力センター（OECC）

本傍聴報告は、2013年6月3日～14日にドイツ・ボンで開催された国連気候変動枠組条約第38回補助機関会合（SB38）において開催されたサイドイベントの傍聴報告です。

- タイトル：気候変動問題に向けた若者の野心的な取組（“Youth in Action on Climate Change: Inspirations from around the World”）
- イベントの種類：セミナー
- 日時：2013年6月11日（火）13：15 - 14：45
- 主催：UNFCCC
- 会場：Ministry of Environment, Room SOLAR
- プレゼンター：
Daniele Violetti（UNFCCC事務局）、Tony Carritt（European Union）、Adriana Valenzuela（ドミニカ共和国）、Magdalena Noszczyk（World Association of Girl Guides and Girl Scouts (WAGGGS)）、Jamie Peters（The youth constituency under the United Nations Framework Convention on Climate Change (YOUNGO)）、Daniel Buckley（UNDP/GEF）、Jazmin Burgess（UNICEF）

■ 概要

1. Daniele Violetti (UNFCCC事務局)

- 若者向けの気候変動に関する文書¹を作成することで、子供たちの気候変動問題への関心を高めることができる。また、気候変動政策の作成プロセスを子供たちに経験させることも重要だと考える。

2. Tony Carritt (European Union)

- 1998年から気候変動の交渉をしているが、教育の力は大きいと感じている。特に感受性が豊かな若いうちに教育を行うことが大事である。
- 過去のCOPにおいて、若者からのメッセージは、交渉官にプレッシャーを与えることを経験している。

3. Adriana Valenzuela(ドミニカ共和国)

- 国連主導で若者の気候変動問題に関する意識を高める出版物を作成している。若者と

¹ “Youth in Action on Climate Change: Inspirations from Around the World”（UNFCCCによる出版）

共に、①地域における削減ポテンシャルを探る、②嵐などの極端現象への適応方法を探る、③地域のリーダー養成を行う、④活動、キャンペーンの展開を行う、⑤最新の気候変動の情報を手に入れる等の活動を進めている。

4. Magdalena Noszczyk (WAGGGS)

- 若年女性向けの気候変動セミナーを行っている。セミナーでは、自己啓発、リーダーの養成なども同時に行っている。過去のセミナーには、24カ国から28人が参加した。気候変動問題、互いの文化に関して学ぶイベントを開催した。セミナーでは、気候変動による異なる影響・問題を共有し、全員で協力し、問題を解決する。さらに行動計画（ラジオを通じた気候変動のキャンペーンを行う等）を作成し、参加者の教育がなされた。

5. Jamie Peters (YOUNGO)

- 気候変動に関する教育やキャンペーン活動を行っている。中国でのリサイクル活動、バングラデシュでの適応の教育、カメルーンでの気候変動キャンペーン、イギリスでの強い経済（グリーンジョブの普及）の政府へのキャンペーン、アラブのバーレーン、カタールでの低炭素経済のキャンペーンなどを行っている。COP18では、カタールでのキャンペーン活動が有名となった。

6. Jazmin Burgess (UNICEF)

- ザンビアで気候変動のキャンペーンを展開している。毎年200人の若者の能力開発を行っており、具体的には、コミュニケーション能力を高め、会議の開催、メディア発表等を行う等の成果を上げた。

7. Daniel Buckley (UNDP/GEF)

- 若者の組織をサポートする小規模無償プログラムを展開している。バイオディーゼルによるCO₂の削減活動、バンブーバイクの展開、モロッコの再森林化、中国のエアコンの省エネ活動（こまめに電気を切る）を支援している。

8. Sandwatch

- 若者を中心に、海や海岸の自然を守る活動を行っている。海岸の問題（植物の保護など）を地元で協議し、対策（暴風からの自然保護対策等）を行うことを支援している。自分達が問題を作り出し、自分達で解決することが重要であることを教育の理念としている。

■ 質疑応答

Q. (フランスの交渉担当官)

今回の SBI への参加目的は何か？

A. Jamie Peters (YOUNGO)

いくつかあるが、例えば、交渉官とコミュニケーションを図る。また、どのように気候変動政策が決まるか実際に見ることも重要だと考えている。

(報告者：OECC 木村 進一)

サイドイベント傍聴報告については以下をご覧ください。

日本語版

http://www.mmechanisms.org/relation/details_oecc_SB38report.html

英語版

http://www.mmechanisms.org/e/relation/details_oecc_SB38report.html